

ふれあいネットワーク

ごせ社協だより

●編集・発行／社会福祉法人

御所市社会福祉協議会

〒639-2236 奈良県御所市 760-3 (代官町)

TEL/FAX 0745-63-2457

NO. 2

東川会長から

市民の皆様へのメッセージ

市民の皆さん、私が御所市社会福祉協議会の会長に就任し早いもので八ヶ月となりました。

私が思っていた以上に御所市は大変な状況であり、平成二十一年度は人的および財政的にも、厳しい年になります。ピンチの時こそチャンスと考え、思いやりとチャレンジ精神で未来志向のまちづくりに取り組みたいと考えております。

「だれもが安心して、心豊かに暮らすまちづくり」を実現したいとの思いで御所市社会福祉協議会の運営に取り組んでまいりましたが、御所市の財政や国の福祉施策の動向により、社協運営のあり方も根底から見直さなければならなくなりました。

平成二十一年度は御所市から補助金カットという未曾有の事態を真摯に受け止め、これからは、御所市と民間団体である社協の連携を今まで以上に強固にし、「地域福祉のあり方」を共に手を携えていかなければならないと考えております。市民が主役となり、お一人おひとりが自己実現を果たすことができるように、また市民の皆さんの声を活動に活か

すことができるような社協運営の実現に取り組んでまいります。

そこで、「市民がお互い敬い、支え合う思いやりのあるまち」の実現を目指し、「地域福祉の拠点となる社協」にするため、平成二十一年度は準備期間と考えております。

従来の事業を職員一丸となって実施しますが、人的体制の縮小や新しい事業の準備等の為、市民の皆様には、ご不便・ご迷惑をおかけすることがあるかもしれません。「地域になくてはならない社協」にリニューアルする為であることを、ご理解いただき、ご協力下さいますようお願い申し上げます。大変厳しい状況の中での、御所市長と民間である社協会長という難しい立場ではありますが、「民意で御所市政を変えたい」との強い思いは、どちらも就任した時のままであります。「元氣な御所市になる為の再生計画」が実現できるように、職員と共に、全力で取り組む所存であります。

市民の皆様には、今まで以上のご協力と絶大なるご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

案内図



事務局より

おまたせしましたー平成二十年十月一日に、記念すべきNo1号を発刊させていただきました、半年が経ちました。

この度、No2号を発刊させていただくことになりました。

今、世の中が大変厳しい状況であります。このような時代だからこそ、地域福祉の重要性がクローズアップされてきました。

厚生労働省が、「地域における新たな支え合い」を求め、住民と行政が協働による新しい福祉を取り纏めました。公的福祉サービスでは難しいことを民間と行政が連携して実施することであり、これからの社協は、市民の皆様と共に市とタイアップして地域福祉を推進することになります。

つきましては、今後の社協運営に対し、市民の皆様が、今まで以上に社協に関心をもつていただけるよう、「新しい福祉の推進」の取り組みを進めていかなければならないと考えています。市民の為に福祉づくりにご協力をお願いします。

今回は①東川会長からのメッセージ、②共同募金・歳末助け合い募金の報告、③平成二十一年度社協事業及び予算について、④平成二十一年度事業報告の四点を掲載させていただきました。

御所市社会福祉協議会 平成21年度事業計画及び予算

I. 基本方針

社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢化による地域社会の変容や生活スタイルの多様化が進み、福祉・介護サービスに対するニーズが増大してきています。

地域では、電球の交換やゴミだしといった生活するうえで容易な手助けを必要とされている方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすための生活課題が多くなってきております。

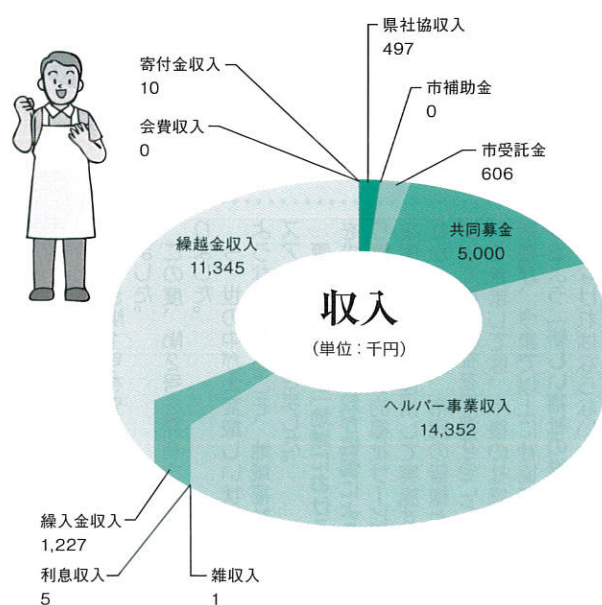
福祉サービスは、すべての方々が安心して暮らすことができる地域づくりに向け、それぞれの地域の実情に即した、多種多様な福祉活動の充実が求められています。

こうした中、福祉サービスを必要とする利用者だけでなく、地域住民の権利を擁護し適切なサービスを提供できるように、市の関係機関・福祉団体等と協働し住民参加のもと積極的に展開することが必要です。

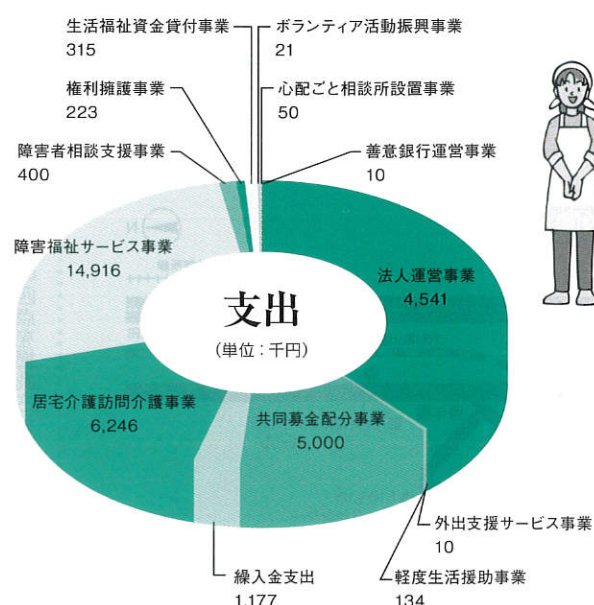
平成21年度は、地域住民やサービス利用者に対しあらゆるサービスを適切に提供するとともに、地域の様々な問題と取り組み、問題解決に努力し「だれもが安心して暮らせるまちづくり」のための準備期間といたします。

II. 重要推進項目

- ①障害福祉サービス事業…身体障害者・知的障害者・精神障害者に対しホームヘルパー派遣を行い、在宅での生活を支援する。
- ②障害者相談支援事業…身体障害者・知的障害者・精神障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、事業所との連絡調整を行う。
- ③訪問介護事業…介護保険の対象となる高齢者に対しホームヘルパー派遣を行い、在宅での生活を支援する。
- ④外出支援サービス事業…介護保険制度を利用されていない方で、車イス等を利用しなければ外出が困難な要介護者等の高齢者に対し病院等の送迎を行う。(受付窓口は、御所市役所)
- ⑤軽度生活援助事業…介護保険制度を利用されていない方で、単独世帯・高齢者世帯で援助が必要とする世帯に対し食材等の買い物支援を行う。(受付窓口は、御所市役所)
- ⑥心配ごと相談所設置事業…悩みをもつ人々の相談窓口となり、あらゆる相談に応じ問題解決に努める。
- ⑦生活福祉資金貸付事業…奈良県生活福祉資金貸付業務に対する窓口事務。
- ⑧赤い羽根共同募金・配分事業…地域福祉に反映されるよう、社会福祉協議会活動並びに各団体活動に対し配分を行う。
- ⑨善意銀行…善意金品の受払に関わる業務。
- ⑩権利擁護事業…判断能力が、不十分な在宅高齢者や在宅心身障害者に対し福祉サービスの利用手続き・金銭管理の援助を行う。



収入合計 33,043千円



支出合計 33,043千円

善意銀行からのご報告

御所市船路観光協会	10,000円	高野山真言宗務支所	248,050円
御所市室 寶國寺 永田善弘	25,871円	御所市 柏原 南 昭	22,800円

(敬称略)

平成20年度は、上記の皆様からご寄附をいただきました。

ありがとうございました！

皆様からいただいた善意のご寄附は、善意銀行に入金し、災害時等や地域福祉の事業のために、活用させていただきます。



社協では、いつでも、いくらでも、こころあたたまる善意の気持ちをうけつけています。

市民のみなさん、「あたたかいきもち」をよろしくお願いします。

平成20年度赤い羽根共同募金の募金実績報告

収入

一般共同募金	戸別募金 自治会長を中心として地域役員のご協力により各世帯からご協力頂いた募金です。		1,260,515円
	街頭募金	街頭募金・イベント募金 各団体のご協力により各駅前とスーパー前やイベント会場で市民のみなさまに呼びかけて、ご協力頂いた募金です。	321,306円
		学校募金 市内学校の生徒や先生のご協力により頂いた募金です。	85,512円
	職域募金 各種団体のご協力を得て市内の関係機関並びに企業・団体の職員さんからご協力頂いた募金です。		335,519円
	法人募金 民生委員並びに各団体のご協力を得て法人・個人宅を訪問しご協力頂いた募金です。		2,212,002円
	歳末たすけあい募金 自治会並びに各種団体のご協力を得て戸別に愛の袋を配布し、ご協力頂いた募金です。		2,830,640円
合 計			7,045,494円

支出	一般共同募金	地域配分金	福祉育成・援助 市内の清掃活動の援助や独居老人調査のために活用	508,000円	歳末たすけあい募金	社協事業	独居老人・重度障害者慰問 市内の独居老人の配食サービスや重度障害者の慰問	863,500円
			障害者(児)福祉活動 障害者団体の体験学習や社会参加事業のために活用	593,000円			療育教室 療育生の育成や両親の情報交換	250,000円
			老人福祉活動 老人の社会参加や世代間交流等のために活用	971,000円			心配ごと相談 悩みを持つ人々の相談窓口を週1回開設	50,000円
			ボランティア育成事業 地域でのボランティア活動のために活用	491,000円			広報発行 社協の活動や情報を「社協だより」として年2回発行	237,500円
			児童・青少年福祉活動 子どもや青少年の社会参加や研修等のために活用	117,000円			ボランティアセンター 立ち上げ準備金	940,000円
			県共同募金会への納付金	930,000円			積立金	489,640円
	積立金	604,854円	合 計		7,045,494円			

平成20年度社会福祉大会を 開催いたしました

今年度で第3回目となる社会福祉大会を平成20年11月12日にいきいきライフセンターで開催いたしました。参加者は91名でありました。

地域福祉にご尽力をいただいた方に対し、会長表彰の授与式と講演会を開催いたしました。

種智院大学の深村真司先生に「よりよい地域孫の代まで」と題し、地域福祉についてのいいお話を聞かせていただきました。



認知症サポーター養成講座を 開催いたしました



平成21年1月23日に御所市中央公民館において、キャラバンメイトである、鴻池会地域ケアセンターの大杉 毅氏に講

師をお願いし、認知症のサポーター養成講座を開催したところ、51名の方が熱心に受講され、認知症サポーターに登録されました。

認知症は誰でもなる可能性がある病気です。正しい知識と温かく見守る応援者となるサポーターの養成講座を、今後も開催する予定であります。

ひとりでも多くの方が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の方を見守っていただきますようお願いします。

こせブランドのボランティアセンターを設立します!!

核家族化や少子高齢化、格差社会の拡大などにより福祉サービスに対するニーズ・課題はますます多様化、高度化してきています。

このような状況の中、ボランティアセンター設立の声が上がってきました。

生活支援が
受けれなくなった

買い物支援が
受けにくくなった

**福祉サービスに対する
不安や不満の声**

週2回の
ヘルパー利用では
何もできない

今後、介護保健も
どうなるか不安

拠点となる
場所がない、
施設利用がしにくい

他のボランティア
団体との
連携がない

ボランティア・市民団体からの声

他のボランティア団
体との情報・交流の
場が欲しい

他のボランティア団
体と共助・協力がで
きるような連絡調整
をして欲しい

「おたがいさま・おかげさまの心づくり」「住民が住民を支える共生のまちづくり」を実現するため、みなさまの協力により、「住民のみなさんが中心となるまちづくり」を目指したボランティアセンターを設立します。